

終了しました。(参加 22 名)

国際研究セミナー（北方共創圏研究センター企画）
「海と国境—北方領土問題および JDZ の存続問題を中心に」

【経緯と趣旨】

本セミナーは、日本の領土問題や海洋戦略を研究する韓国の研究者グループから、北方領土問題に関する知見を深めたいとの要請を受けて企画するものである。北方領土問題は、日本および北海道にとって極めて重要な領土政策の一つである。現在、ロシアによるウクライナ侵攻以降、日韓関係は急速に悪化しており、領土交渉の先行きは不透明な状況にある。

本セミナーでは、このような状況を踏まえ、北方領土問題の現状を確認するとともに、日韓間の領土問題にも関わる大陸棚協定などの認識や課題についても議論する。

1. 主催：北海学園大学・北方共創圏研究センター、国民大学校日本学研究所 海洋戦略研究センター (KJMC)、東北アジア歴史財団（後援：韓国研究財団、北海道国際交流・協力総合センター）
2. 日時：2026年6月9日（火）15時～18時30分
3. 場所：北海学園大学国際会議場

—プログラム—

司会：福原裕二（島根県立大学）

開会（15：00～15：10）

開会の辞：森下宏美（北海学園大学学長）

祝辞：洪聖根（東北アジア歴史財団 / 獨島室長）

第1報告（15：10～15：40）：北方領土をめぐる日韓交渉のこれまで

高田喜博（北海道国際交流・協力総合センター研究員）

第2報告（15：40～16：00）：北方領土水域をめぐる日韓漁業関係

濱田武士（北海学園大学）

第3報告（16：00～16：30）：日本の北方領土政策の変化—広報・教育政策を事例として

金承賢（高麗大学）

休憩（16：30～16：35）

第4報告（16：35～17：05）：日本の海洋資源戦略と日韓大陸棚共同開発協定

石珠熙（東北アジア歴史財団）・朴昶健（国民大学）

総合討論（17：05～18：25）

討論者1：吳承燾（国立外交院）、

討論者2：中島竜雄（元北海道庁北方領土対策局長）

討論者3：渡辺玲男（北海道新聞社編集委員）

閉会の辞（18：25～18：30）：上園昌武（北方共創圏研究センター長）

